2026 年 5 月 1 日

各　位

会 社 名　　株式会社 坪田ラボ
代表者名　　代表取締役社長 CEO　　坪田 一男
（コード番号：4890　東証グロース市場）
問合せ先　　執行役員 CFO 企画管理本部長　　光岡 圭介
（TEL 03-6384-2866）

東北大学との共同研究により、バイオレットライト対応マイクロ LED ディスプレイ技術を発表
― 当社の光デバイス R&D 戦略の一環として社会実装を推進 ―

株式会社坪田ラボ（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：坪田一男、以下「当社」）は、東北大学大学院工学研究科（石鍋隆宏教授、白井泰雪教授ら）との共同研究により、バイオレットライトを発光可能なマイクロ LED を組み込んだディスプレイ技術を開発し、2026 年 5 月に米国で開催される世界最大級のディスプレイ技術の展示会 Society for Information Display International Symposium（SID Display Week）において招待講演として発表予定であることをお知らせいたします。

【背景と戦略的位置づけ】

当社は、ヘルスケアにおけるバイオレットライトの有用性に関する医学的知見を基盤に、基礎研究成果の社会実装を重要な経営戦略の柱の一つと位置づけております。
屋外光に含まれるバイオレットライト（360–400 nm）は、非視覚型光受容体（OPN5）を介して、私たちの健康維持に必須となるさまざまな役割を担っています。当社は、現代の生活様式で不足しがちなこの光の可能性にいち早く着目し、主軸である医療機器の開発を進めるとともに、皆様のすこやかな毎日をサポートするヘルスケアデバイスの開発を推進しております。

【発表情報】
学会名：Society for Information Display International Symposium（SID Display Week）
発表形式：招待講演
発表題目：Beyond Image Quality: Violet-Light–Enabled Displays for Visual Health
発表日：2026 年 5 月 7 日（現地時間）
開催地：米国 ロサンゼルス
URL：https://www.displayweek.org/

【本共同研究の意義】

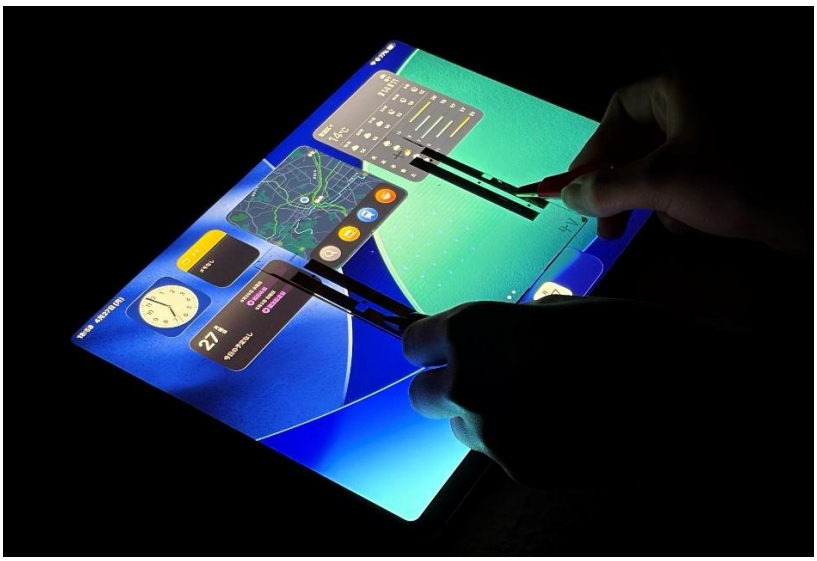
一般的なディスプレイは主にブルーLED を光源としており、バイオレットライトを含まない構造となっています。本共同研究では、ディスプレイ内部にマイクロ LED を組み込むことで、従来の表示機能を維持したままバイオレットライトの照射を可能とする、新たな技術を開発しました。本技術は、日常的に使用されるデバイスを通じて光環境の設計自由度を拡張するものであ

り、従来の表示品質中心のディスプレイ設計に対し、新たな付加価値の方向性を提示するものです。

本技術は、医療機器とは異なる領域において、日常的に使用されるデバイスを通じた新たな光環境の設計可能性を示すものであり、当社の研究領域を拡張する取り組みと位置づけています。

【技術の特徴】

- 視認性に影響を及ぼさないレベルのマイクロ LED を活用し、従来ディスプレイの表示品質を維持
- ユーザーとの距離に応じた照射する強さの制御機構
- 既存ディスプレイとの統合可能性



開発技術を搭載した
ディスプレイシステム
タブレット端末に透明型ディスプレイモジュールを装着し、内蔵マイクロ LED によりバイオレットライトを照射している様子。表示画像の視認性を維持したままバイオレットライト照射が可能であることを示している。

【今後の展望】

本技術は現時点では研究開発段階にありますが、将来的にはディスプレイ、教育機器、ウェアラブルデバイスなどへの応用可能性が期待されます。当社は今後、ディスプレイメーカー等との連携を通じた実用化検討を進めるとともに、ライセンス提供等を含む事業展開を視野に入れております。

当社は、医薬品・医療機器領域における研究開発に加え、非医療領域を含めた光デバイス事業の拡張を通じて、新たな事業機会の創出および中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

なお、本技術は医療機器ではなく、特定の疾病の診断・治療・予防を目的としたものではありません。

本件は現時点において研究開発段階にある取り組みであり、今後の事業化に向けて検討を進めてまいります。現段階では具体的な収益計上は見込んでおらず、業績予想にも織り込んでいないため、業績への影響は限定的です。今後、開示すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

以上